

## 5904-014 ダミーシャフト&専用レンチ 取扱説明書



### ヘッド単体計測時に便利なダミーシャフトの決定版!!

各種ヘッド単体の計測時、測定器に測定する際に最適なダミーシャフトです。専用レンチを用いてホーゼル内部の先端径を広げることで、ヘッドをしっかりと保持、同時にホーゼル軸とシャフト軸のすり合わせもできます。また、シャフトを測定器にセットしたまま、ヘッドのみを次々に取り替えて計測することも容易です。

8.5mm(0.335 インチ)チップ用(#5904-0141)

9.0mm(0.35 インチ)チップ用(#5904-0142)

9.4mm(0.37 インチ)チップ用(#5904-0143)

専用レンチ(#5904-0144)

## 使用方法

### ■取り付け方法

ヘッド・ホーゼル径に適合するダミーシャフトを使用します。ホーゼル内部の異物を取り除き、ダミーシャフトをストッパー部(図1)まで挿入します。後端よりレンチを最後まで挿し、時計回りに締め付ける(図2)と、ホーゼル内部でダミーシャフト先端が広がり、ヘッドを保持します。計測時には、レンチを抜いてご使用下さい。

### ■取外し方法

レンチをダミーシャフト後端より挿し、反時計回りに緩めます(図2)。レンチを2～3回転、緩めてもシャフトが抜けられない場合、レンチを押し込んで下さい。

※本品は先端に内蔵した円錐パーツの位置を内部ボルトにより、調整することで先端径を変更しています。この円錐パーツが取り付け時の強い締め付けにより固定されると、レンチを反時計回りに回しただけでは、シャフトが抜けられないことがあります。そのような場合、緩めた状態でレンチを押し込むことで円錐パーツが外れ、容易にシャフトを抜くことが出来ます。(図1・2)レンチで内部ボルトを緩めすぎますと、円錐パーツが脱落することがありますので、ご注意下さい。

図1

円錐パーツをレンチでこの方向に押し込むことで、シャフトが抜けやすくなります。

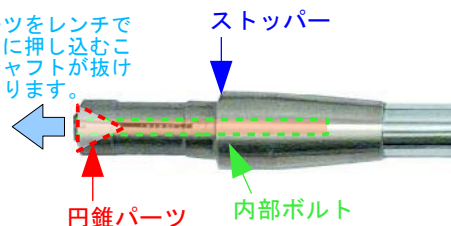


図2

